

生活リズムや交通量の変化

GWの交通事故注意 ◆前半3日間 午前0時、午前11時台多発◆

2016年04月26日Tweet

愛知県警は、過去5年間の大型連休（ゴールデンウィーク＝GW）中に県内で起きた交通死亡事故38件の発生状況や原因の分析結果を発表した。午前0時台と午前11時台、前半3日間で特に多発傾向がみられるといい、県警は「油断せず、事故のない楽しい連休を」と、安全運転を呼びかけている。

午前0時台の事故は、知人らの送迎途中などに幹線道路で起きるケースが目立ち、脇見や考え方をしながらの運転などが原因だった。同対策室は「生活のリズムが崩れ、深夜に集中力や判断力が下がったことが事故につながっている」と指摘する。

一方、午前11時台の事故では、買い物や通院中の高齢者が、近所の道路で軽乗用車や原付きバイクを運転中に起こす事故が多い。同対策室は「幹線道路の渋滞を避け、身近な道路を利用する車が増えるためではないか」と分析している。

また、前半3日間に多発する傾向については、帰省や行楽などで普段はあまり運転しないドライバーが増えることや、交通量の急激な変化にドライバーが慣れていないことなどが背景にあるとみられる。マイカーなどで遠出する機会が増えるGWを前に、「生活リズムや交通量の変化に十分注意を」と話している。

「なれた道・なれた仕事」に注意！

●一時停止 ⇒ 二度停止
●前車発進 ⇒ 2秒後に発進

子供は、動く赤信号！

気のゆるみ…飲酒運転厳禁！

気のゆるみ スピード出し過ぎていませんか？

「わき見運転をした」

幼稚園バスが、道路標識に衝突、園児数人ケガ
◇動かないものに衝突…それでも、プロドライバー？◇

2016年4月27日(水)14時15分

27日午前8時半頃、千葉県の県道で、「道路標識と幼稚園バスがぶつかった」とバスに乗っていた女性職員から110番通報があった。警察によると、バスには当時、園児ら約20人が乗っていて、園児全員が病院に搬送され、このうち数人が口の中を切るなどの軽いケガをしたという。現場は見通しの良い直線道路で、バスを運転していた73歳の男性は、「わき見運転をした」と話しているということです。

「昨夜の酒が残っていたのかもしれない」

登校児童の列に酒気帯び運転の車、女児4人けが（続報）

2016年4月27日(水)10時32分

27日午前7時15分頃、長野県で、集団登校中の小学生の列に軽トラックが突っ込み、女子児童4人がけがをして病院に搬送された。警察は、運転していた無職の男（77）の呼気から基準値を超えるアルコールが検出されたことから、道交法違反（酒気帯び運転）の疑いで現行犯逮捕した。調べに対し、男は「昨夜の酒が残っていたのかもしれない」と供述しているという。男の車は対向車線にはみ出して縁石を乗り越え、歩道上の児童の列に後ろから突っ込んだとみられる。

信号の無い横断歩道で…登校中の小学生2人はね 22歳女を逮捕

2016年4月27日(水)18時39分

27日午前8時ごろ、宮城県で、横断歩道を渡っていた登校途中の小学2年の男子児童2人が軽乗用車にはねられました。2人は病院に搬送されました。命に別状はないということです。警察は、車を運転していた市内の事務員の女性容疑者（22）を現行犯逮捕しました。現場は信号機のない横断歩道でした。

信号機や一時停止線のない 見通しのいい交差点

出会い頭に衝突、後部座席の男性1人死亡

2016年04月27日 20時23分

27日午後2時ごろ、佐賀県の町道交差点で、軽乗用車と乗用車が出会い頭に衝突、軽乗用車の後部座席に乘っていた近くの男性（86）が胸を打ち死亡した。軽乗用車を運転していた主婦（29）もけが。警察によると、現場は信号機や一時停止線のない見通しのいい交差点。原因を調べている。

踏切事故 バス運転手、警報が鳴っているのに踏切に進入か

◇バスの乗客：踏切に侵入する前から、警報音が聞こえていた◇

2016年4月22日(金)7時10分

静岡県の踏切で列車と大型バスが衝突した事故で、自動車運転処罰法違反（過失傷害）の疑いで送検されたバス運転手の男性（29）が、警報が鳴っているのに踏切内に進入した可能性が高いことが、21日までの捜査関係者への取材で分かった。捜査関係者によると、バスの乗客は踏切に進入する前から警報音が聞こえていたと証言しているという。「踏切内で止まった後、バスを動かしたり、列車の緊急停止ボタンを押すために車外へ出たりはしなかった」との情報もあるという。